

令和4年静岡県の自動車保有台数調査

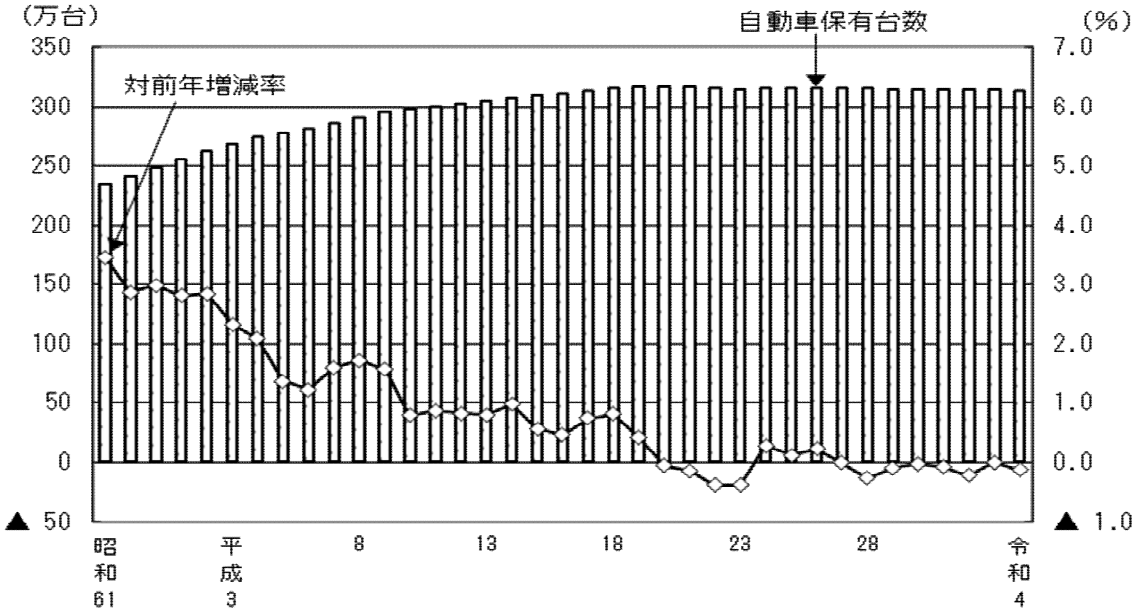
第1 結果の概要

1 自動車保有台数

自動車保有台数は3,132,047台、2年ぶりに減少

令和4年4月1日現在の県内の自動車保有台数は、3,132,047台で、前年3,136,260台と比べ4,213台(0.1%)減と、2年ぶりに減少となった。

第1図 自動車保有台数及び対前年比増減率の推移



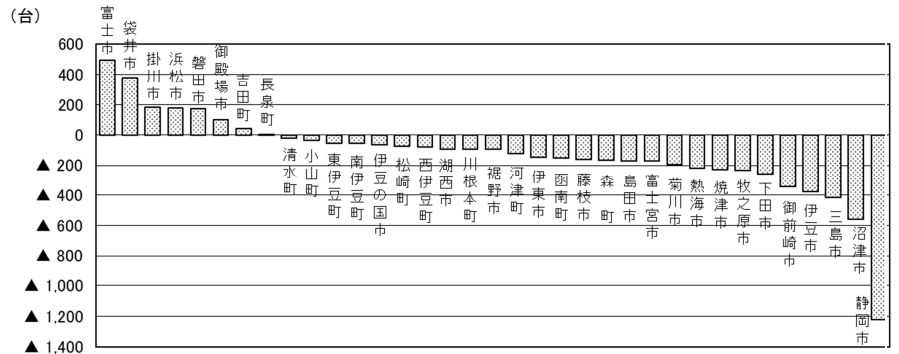
2 市町別自動車保有台数

8市町が前年より増加、27市町が前年より減少

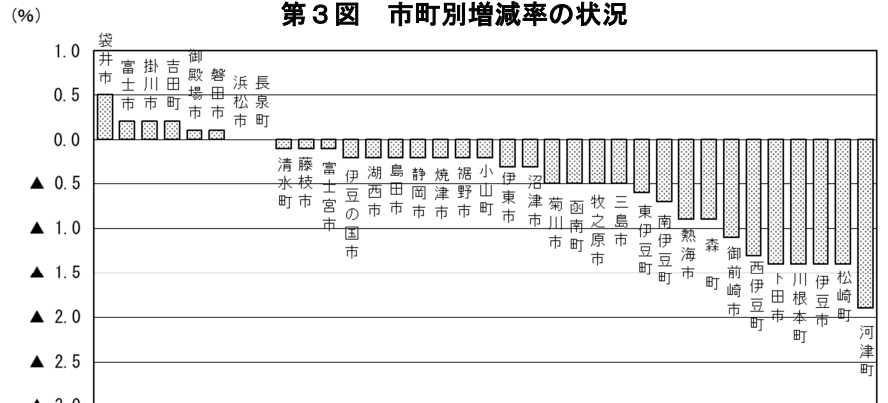
増減台数順位		
順位	市町名	増減台数
1	富士市	495
2	袋井市	379
3	掛川市	180
4	浜松市	176
5	磐田市	172
～		
31	御前崎市	▲ 341
32	伊豆市	▲ 376
33	三島市	▲ 417
34	沼津市	▲ 561
35	静岡市	▲ 1,220

増減率順位		
順位	市町名	増減率%
1	袋井市	0.5
2	富士市	0.2
2	掛川市	0.2
2	吉田町	0.2
5	御殿場市	0.1
5	磐田市	0.1
～		
31	下田市	▲ 1.4
31	川根本町	▲ 1.4
31	伊豆市	▲ 1.4
31	松崎町	▲ 1.4
35	河津町	▲ 1.9

第2図 市町別増減台数の状況



第3図 市町別増減率の状況



3 車種別自動車保有台数

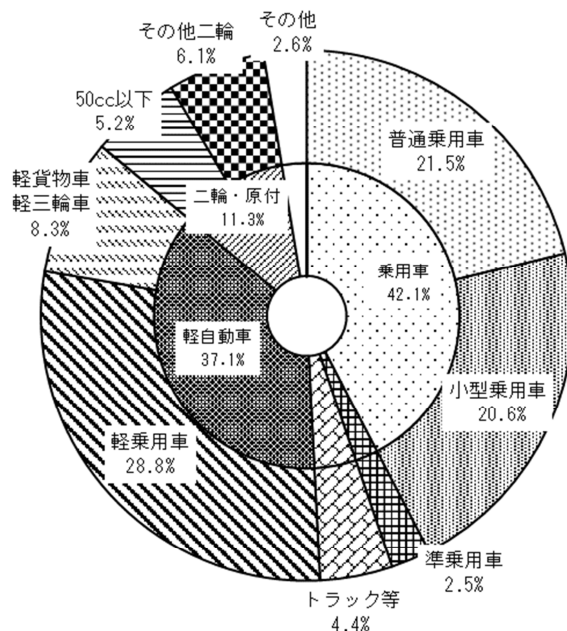
(1) 車種別構成比

車種別では、全体の42.1%が乗用車

全体の42.1%が乗用車であり、次いで軽自動車37.1%を占める。前年と比較すると、軽自動車は0.3ポイントの上昇、乗用車は0.3ポイント、二輪・原付は0.1ポイントの低下となっている。

第4図 車種別構成比

車種	台数	令和4年	前年
乗用車	1,320,113	42.1%	42.4%
（普通乗用車）	673,708	21.5%	21.2%
（小型乗用車）	646,405	20.6%	21.2%
軽自動車	1,161,327	37.1%	36.8%
（軽乗用車）	901,162	28.8%	28.5%
（軽貨物車・軽三輪車）	260,165	8.3%	8.3%
二輪・原付	355,110	11.3%	11.4%
（50cc以下）	164,067	5.2%	5.5%
（その他二輪）	191,043	6.1%	5.9%
トラック等	137,175	4.4%	4.4%
準乗用車（貨客兼用小型自動車等）	77,018	2.5%	2.4%
その他（バス、特車等）	81,304	2.6%	2.6%
計	3,132,047	100.0%	100.0%



(2) 車種別対前年増減台数

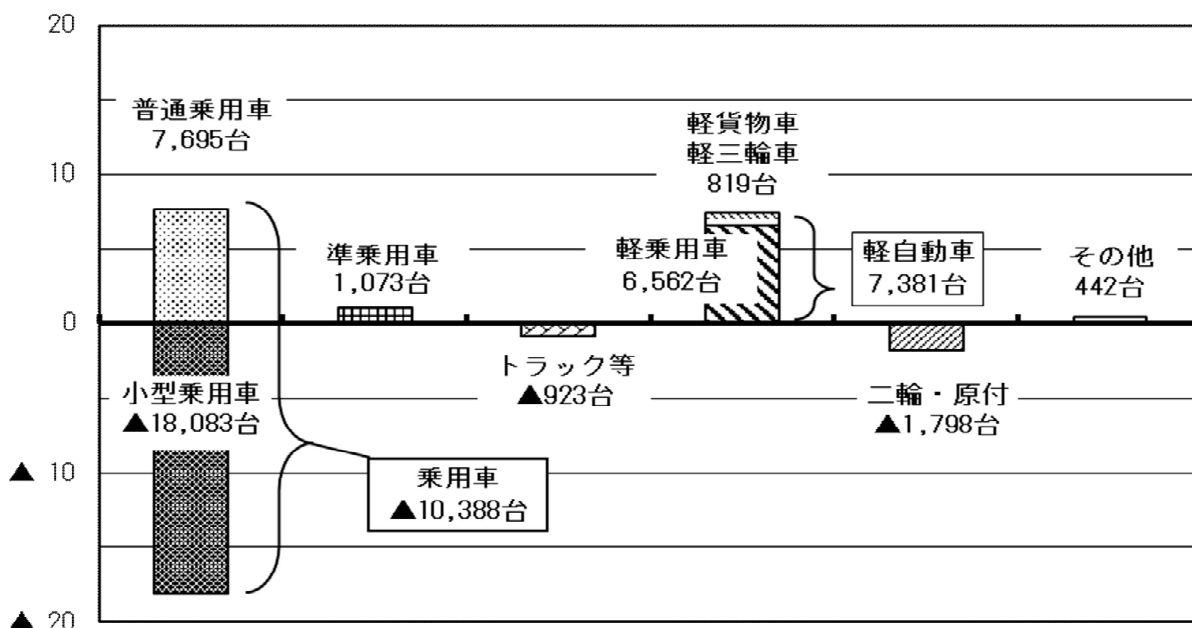
昨年より乗用車は減少、軽自動車は増加

車種別台数を前年と比較すると、普通乗用車は増加しているが小型乗用車の減少が大きく、乗用車全体では10,388台の減少となっている。

また、軽自動車は軽乗用車と軽貨物車及び軽三輪車の増加により7,381台の増加となっている。

(千台)

第5図 車種別対前年増減台数の状況



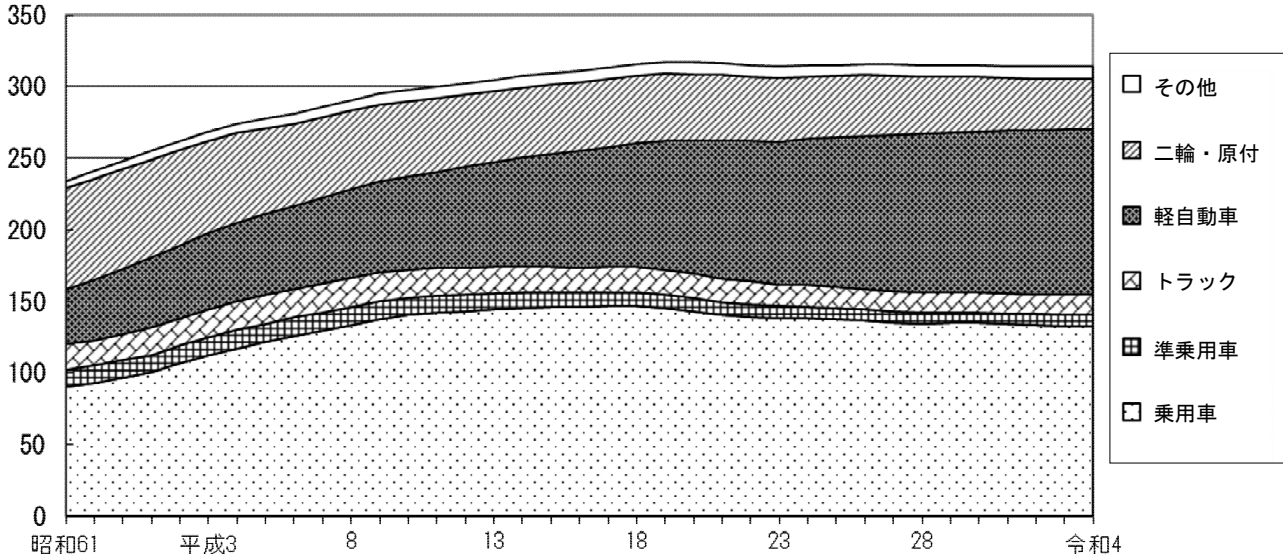
(3) 車種別保有台数の推移

軽自動車は45年連続の増加、乗用車は5年連続の減少

車種別台数の推移を長期的にみると、軽自動車は、昭和53年から45年連続で増加して、令和4年の保有台数は、1,161,327台となった。また、乗用車は1,320,113台となり、5年連続で減少した。

(万台)

第6図 車種別保有台数の推移



4 電気自動車等の状況

(1) 電気自動車等の保有台数

全体に占める割合は12.1%、乗用車に占める割合は28.5%

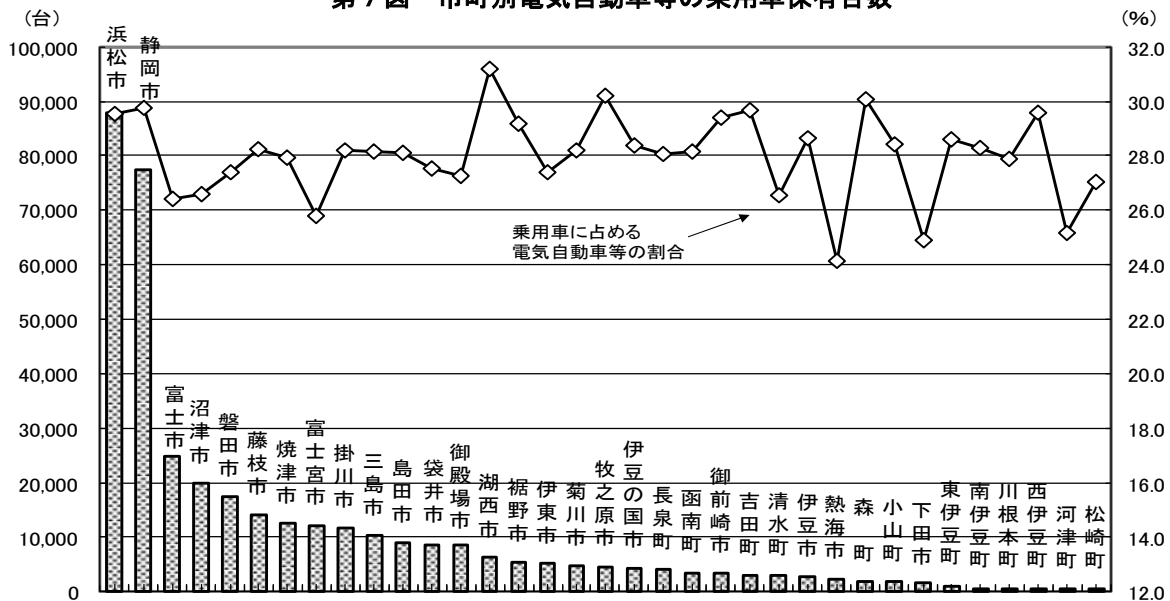
電気自動車等は県全体でみると378,408台、全車種に占める割合は12.1%(対前年比0.9ポイント上昇)となり、乗用車のみでは375,798台、28.5%(同2.3ポイント上昇)となっている。

(2) 市町別乗用車台数

浜松市、静岡市で全体の43.9%を占める

市町別に電気自動車等の乗用車保有台数をみると、浜松市(87,846台)と静岡市(77,316台)の上位2市の合計台数が県全体(375,798台)の43.9%となっている。

第7図 市町別電気自動車等の乗用車保有台数



注) 折れ線は、各市町別の全乗用車数に占める電気自動車等乗用車数の割合(%)を表す。

5 自家用乗用車の状況

(1) 自家用乗用車の保有台数

自家用乗用車は前年に比べ0.2%の減少

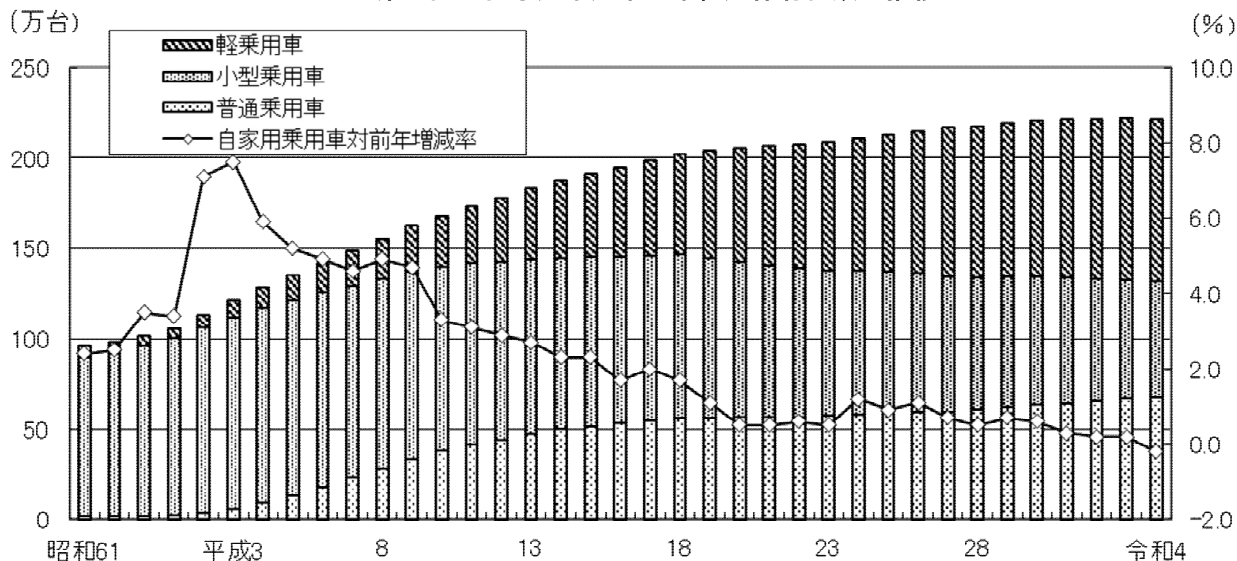
自家用乗用車（乗用車のうち自家用のもの及び軽乗用車）は2,216,856台で、自動車全体の70.8%を占めている。また、昭和44年の調査開始以来、前年まで毎年増加してきたが、今年初めて前年より減少し、前年の2,220,551台と比べると3,695台（0.2%）の減少となっている。

(2) 自家用乗用車の車種別保有台数の推移

軽乗用車は、33年連続の増加

自家用乗用車の内訳を長期的にみると、軽乗用車は平成2年から一貫して増加し、小型乗用車は平成5年をピークに減少を続けている。なお、普通乗用車は調査開始以降、平成21年に初めて減少したが、平成22年以降再び増加傾向を示している。

第8図 自家用乗用車の車種別保有台数の推移



(3) 自家用乗用車1台あたり人口及び世帯あたり保有台数の推移

自家用乗用車1台あたりの人口及び世帯あたりの自家用車保有台数は減少

自家用乗用車1台あたりの人口は1.62人で、前年から0.01人減少した。
また、自家用乗用車の1世帯あたり保有台数は1.48台で、前年から0.02台減少した。

第9図 自家用乗用車1台あたり人口及び世帯あたり保有台数の推移

